

漢詩基礎知識

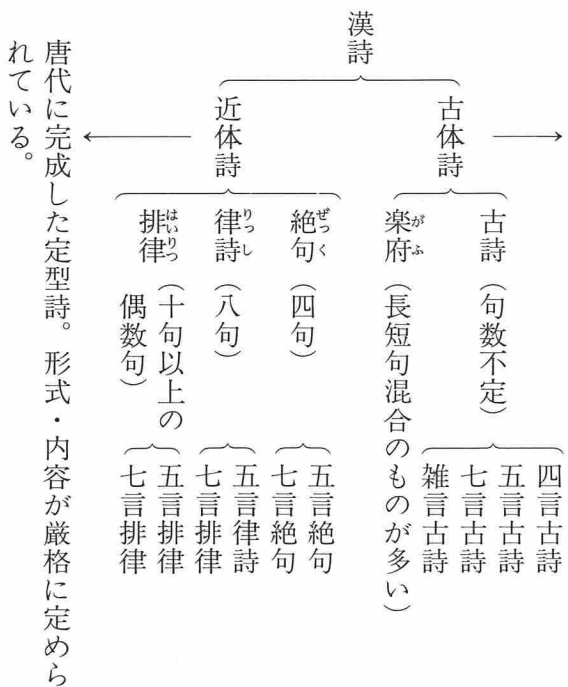
年 組 氏 名

漢詩とは、漢字だけで書かれた詩である。形式などによりいろいろなさまざまがある。

*形式

言：一行の字数
句：行数

唐代以前に成立した古い詩で、形式・内容がゆるやかである。



*押韻

韻とは、漢字のグループ分けのこと。漢字は全部で数万といわれるが、そのすべてが一〇六の韻のどれかに属している。どの字がどの韻に属しているかということはとても覚えられないが、おおむね音読みでわかる。例えば「金」という字と同じグループには「深」「心」などがあり、どれもin（イン）という音で終わっている。

この同じ韻の漢字を、詩の決められた場所に使うことを「韻を踏む」または「押韻」という。押韻すると詩にリズムを与えることができる。

五言の詩は偶数句の末字に、七言の詩は第一句と偶数句の末字に押韻するのが原則であるが、第一句に韻を踏まないこともある。

また、その詩の中で韻を踏んでいる文字を「韻字」という。

*起承転結

漢詩、特に絶句の組み立て方をいう。第一句（起句）で内容を起し、次の句（承句）で筋を展開させ、第三句（転句）で内容を転じて変化を与え、最後の句（結句）で全体をしめくくる。この書き方は、文章の書き方にも応用されている。

次の例は、江戸時代の漢学者・歴史学者である頼山陽が、この起承転結を説明するのに作ったといわれる。

京の五条の糸屋の娘（起）
姉は十七妹は十五（承）
諸国大名は弓矢で殺す（転）
糸屋の娘は目で殺す（結）

*五言絶句

静夜思 李白

牀前看月光（起句） 牀：ベッド

疑是地上霜（承句） 是：月光

举頭望山月（転句）

低头思故乡（結句）

*七言絶句

江南春 杜牧

千里鶯啼緑映紅（起）

水村山郭酒旗風（承）

南朝四百八十寺（転）

多少楼台煙雨中（結）

*五言律詩

登岳陽樓 杜甫

昔聞洞庭水（首連） 洞庭：洞庭湖のこと

今上岳陽樓（首連） 吳楚：吳と楚の二つの国

吳楚東南坼（首連） 東南：吳楚の地が中国の東南に当たり、そこに洞庭湖が切りさくようにある

乾坤日夜浮（領連） 乾坤：天と地

親朋無一字（頸連） 親朋：親類と友人

老病有孤舟（頸連） 無一字：一字の便りもない

戎馬關山北（尾連） 戎馬：戦争

憑軒涕泗流（尾連） 關山：関所や山

*唐代の有名詩人

漢詩は唐代（六一八〜九〇七）に入って隆盛となり、多くの有名な詩人が輩出した。中でも李白と杜甫はその双壁である。

(1) 初唐（六一八〜七一二）

駱賓王（六四〇？〜六八四）

(2) 盛唐（七一二〜七六六）

孟浩然（六八九〜七四〇）

王維（六九二〜七五九）

李白（七〇一〜七六二）

杜甫（七一二〜七七〇）

(3) 中唐（七六六〜八二四）

白居易（七七二〜八四六）

(4) 晚唐（八三七〜九〇七）

杜牧（八〇三〜八五二）